

エンプロイヤーブランド・リサーチ

調査報告書

カントリーレポート

日本国内結果



Randstad
Award
results
2015



目次

1. 調査概要

2. グローバル調査結果

3. 国内調査結果

- 勤務先企業を選ぶときに最も重要と考える内容はどのようなことですか？
- 以前の勤務先を退職し、転職をした理由は？
- 転職をしたいと考えるきっかけとなった理由は？
- 転職をせず、現職に留まる理由は？
- 転職活動でソーシャルネットワークはどれくらい活用されているのか？

4. ランスタッドアワード2015

- 最もエンプロイヤーブランドの高い企業
- 最もエンプロイヤーブランドの高い業界

補足資料



1. 調査概要

ランスタッドアワードについて



ランスタッドアワード2015 ～エンプロイヤーブランド・リサーチ～

ランスタッドアワード概要

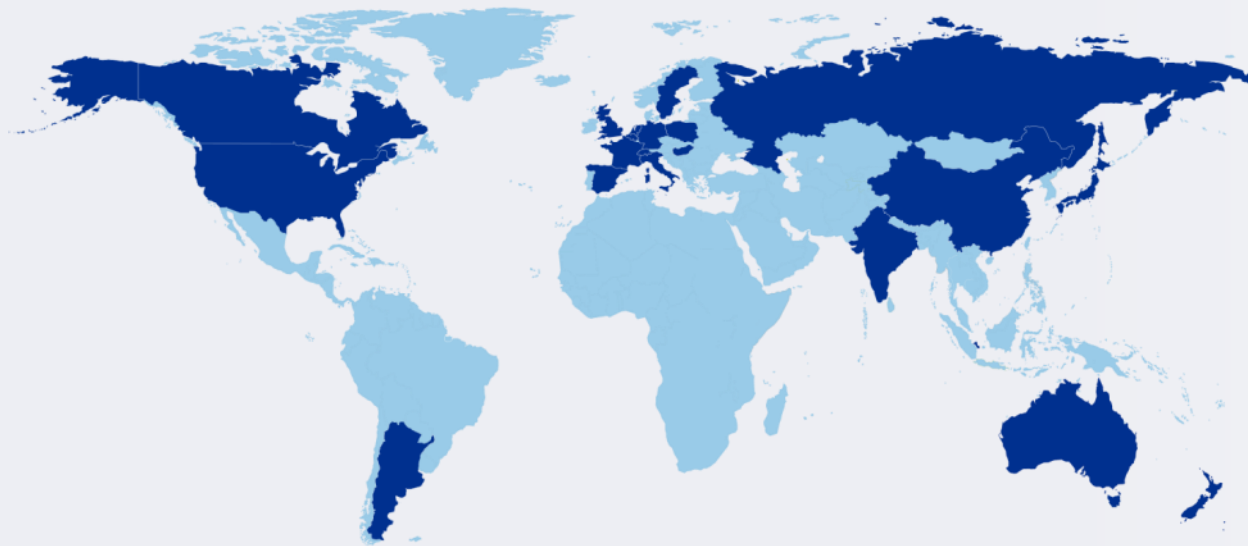
- 世界最大規模のエンプロイヤーブランド・リサーチ、約22万人の回答から結果を導き出しています
- 各国で営業する大手企業（従業員人数規模に基づく）を対象に、一般回答者の意識を調査しています。
- 調査は第3者調査期間、ICMA(ベルギー)に依頼

調査概要

- 回答者はまず、ランダムに表示された調査対象企業の中から、自分が知っている企業を選択
- 上記で選んだ企業について「この企業で働きたいと思いますか？」という問いに回答（働きたいという回答比率が最も高い企業がランスタッドアワードを受賞）
- 次に、エンプロイヤーブランド10項目について、各企業ごとに回答
- 集計結果、最もエンプロイヤーブランドが高い企業を表彰



ランスタッドアワード2015 ～エンプロイヤーブランド・リサーチ～



- グローバル経済の75%以上を網羅する、23の国と地域で調査を実施、
- 日本国内で任意に選出された18～65歳の男女(労働力人口の比率に基づいて調査対象を選定)
- 回答者は、就業中の方に加えて、学生、就業をしていない層も含む
- グローバル調査集計期間は、2014年9月～12月(国内調査集計期間は、2014年10月～11月)

オーストラリア	カナダ	香港	日本	ロシア	スウェーデン
アルゼンチン	中華人民共和国	ハンガリー	オランダ	シンガポール	イギリス
ベルギー	フランス	インド	ニュージーランド	スペイン	アメリカ
ルクセンブルク	ドイツ	イタリア	ポーランド	スイス	

質問項目 - 1

Q:あなたが勤務先を選ぶときに「重要」と考える内容はどのようなことですか？

(重要である、あるいは重要でないと考える項目をそれぞれ上位5位まで優先順位順に選択)

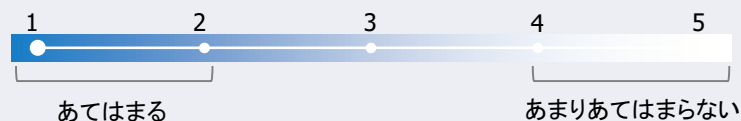
Q:この企業をご存知ですか？

(リストより30の企業名をランダム表示し、知っている企業をすべて選択)

Q:この企業で働きたいと思いますか？



Q:この企業で働くとは定したとき、企業に対するあなたの印象をお聞かせください



- ・ 給与水準が高く、福利厚生が充実している
- ・ キャリアアップの機会がある
- ・ 職場環境が快適である
- ・ 長期にわたる安定した雇用機会がある
- ・ ワークライフバランスが実現しやすい
- ・ 財務体質が健全である
- ・ 興味深い仕事がある
- ・ 教育訓練が充実している
- ・ 経営者層が優れている
- ・ 環境や社会に配慮している(CSR)



質問項目 - 2

1. あなたは過去1年間に転職をされましたか、
それともこの先1年以内に予定されていますか？

- はい、ここ1年以内に自己都合で転職をしました
- はい、ここ1年以内に勤務先都合で転職をしました
- はい、向こう1年以内の転職を考えています
- いいえ、ここ1年以内に転職をしておらず、向こう1年も予定していません

2. 転職をした理由をお聞かせください。

選択肢の中から、優先順位の高い順に3つの要素を選択

3. 転職を考えるきっかけとなった理由をお聞かせください。

選択肢の中から、優先順位の高い順に3つの要素を選択

4. 現職に留まっている理由をお聞かせください。

選択肢の中から、優先順位の高い順に3つの要素を選択

5. 仕事に応募する際にソーシャルメディアを利用しますか？

- はい（どのソーシャルメディアですか？）
- いいえ



調査定義

企業名認知度

- ランダムに並べられた調査企業の中から「社名を知っている」とした回答者の比率

エンプロイヤーブランド＝ランスタッドアワード

- 「社名を知っている」と回答した層の中から、この会社で「（ぜひ）働きたい」を選択した回答者の比率
- 最高スコアを獲得した企業を表彰（ランスタッドアワード）

注記:

- エンプロイヤーブランドの測定にあたっては、有名企業が有利にならないよう、「その会社を知っている」と答えた回答者のみを母数とした
- 業界区分及び所属企業は各超鎖国でそれぞれ設定されている
- 業界の調査結果は、その業界に所属する企業のスコアに基づいている



2. グローバル・インサイト

各国の相違点



global insights to be included when
ready

global insights to be included when
ready

3. 国内調査結果



回答者属性 - 1

ランスタッドアワード 日本での調査は4回目

- 18～65歳の男女9,753人が回答
- 170社（日系145社、外資系25社）のエンプロイヤーブランドを調査
- 2014年10月～11月にオンライン調査を実施

		回答者数（人）
合計		9,753
性別	男性	4,745
	女性	5,008
年齢	18 - 24歳	899
	25 - 44歳	5,995
	45 - 65歳	2,859
最終学歴	高等学校卒以下	3,906
	短大・専門学校卒	1,171
	大学・大学院卒	4,655



回答者属性 - 2

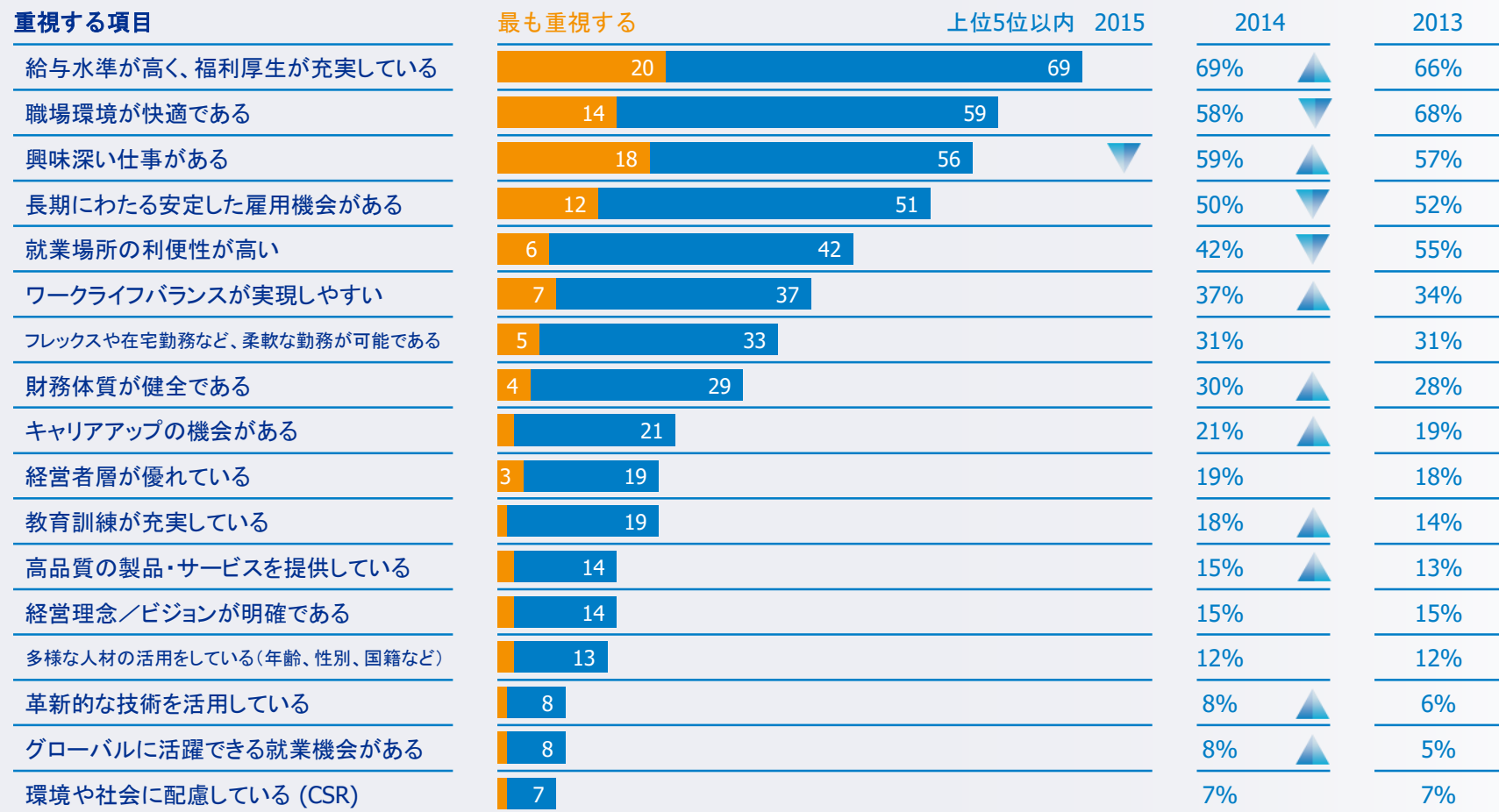
	回答者数（人）
合計	9,753
地域	
北海道	422
・東北地方(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)	716
関東地方(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川)	3,215
甲信越地方(新潟、富山、石川、福井、山梨、長野)	647
東海地方(静岡、愛知、岐阜、三重)	1,161
近畿地方(滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山)	1,593
中国地方(鳥取、島根、岡山、広島、山口)	579
四国地方(徳島、香川、愛媛、高知)	305
九州地方(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)	1,114

	回答者数（人）
所属業界	5,864
現職のみ	
農林水産業	56
自動車・輸送機器	244
建設業	364
金融／保険	223
一般消費財	70
人材サービス	57
その他製造業	739
ITサービス	258
コンサルティング	13
鉱業	8
医療／福祉	561
非営利団体(NPO/NGO)	51
公務員(官公庁、地方公共団体)	250
教育・学習支援／私立教育機関	308
製薬・化学	110
電気／ガス／熱供給／水道業	109
電気・情報通信	138
不動産業	123
小売	494
商社／卸	241
その他サービス業	855
マスコミ・広告	28
運輸・輸送業	230
飲食／宿泊業	158
その他	175

勤務先選びで最も重視されるのは、依然給与待遇の充実 職場環境の快適性、興味深い仕事内容も引き続き上位に

勤務先企業を選ぶときに最も重要と考える内容はどのようなことですか？

設問：あなたが勤務先を選ぶときに、「重要」と考える内容はどのようなことですか？ 優先順位が高い順に順位をつけ、1～5位を必ず全てご指定ください。



転職をした理由は、報酬だけではなく職場で受ける評価に不満 ワークライフバランスもきっかけに

以前の勤務先を退職し、新たなキャリア機会を探し求めるきっかけとなった理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

転職をした理由 トップ10

職場での評価や受け取る報酬に不満があった
ワークライフバランスが実現できなかった
同僚との人間関係や協力体制が悪かった
業務内容に興味がなかった
同業や別業界の他社と比べて給与待遇が低すぎた
リーダーシップが不足していた（経営層を尊敬できない）
直属の上司との人間関係が悪かった
通勤時間が長すぎた
他社と比べ、休暇取得がしづらかった
時短勤務など、柔軟な働き方が選択できなかった

3位以内 (%)

28
28
22
20
17
17
16
15
15
15

1年以内に
転職を経験



9% 転職を経験

自発的な転職: 7%

勤務先都合の転職: 2%

転職を考えるようになったきっかけも 職場での評価や報酬への不満、業務への興味不足も上位に

向こう1年以内の転職を考えるきっかけとなった理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

転職を考えるようになった理由 トップ10

職場での評価や受け取る報酬に不満があった
同業や別業界の他社と比べて給与待遇が低すぎた
業務内容に興味がなかった
ワークライフバランスが実現できなかった
同僚との人間関係や協力体制が悪かった
リーダーシップが不足していた（経営層を尊敬できない）
キャリアアップの機会が足りなかった（選択肢が限定的）
他社と比べ、休暇取得がしづらかった
直属の上司との人間関係が悪かった
福利厚生が少ない、または無かった

3位以内(%)

32
25
24
20
19
18
17
15
15
14

1年以内に
転職を検討

14% 転職を検討

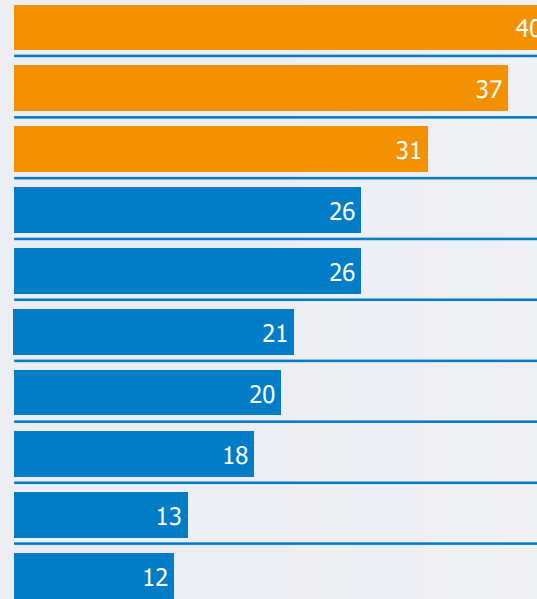
ワークライフバランスの実現が現職に留まる理由トップ 転職をしたきっかけと同様に上位にランクイン

転職をせず、あなたが現在の勤務先に留まっている理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

現職に留まっている理由 トップ10

ワークライフバランスを実現できている
興味深い仕事がある
直属の上司とよい人間関係を築けている
時短勤務など、柔軟な働き方の選択肢が与えられている
周囲から評価され、感謝されていると感じる
高水準の給与が提供されている
組織風土・文化がよい
健全な財務体質を維持している
組織としての強力なイメージがある
キャリアアップ、昇進の機会がある

3位以内(%)



ここ1年以内に転職
を経験しておらず、
予定もしていない



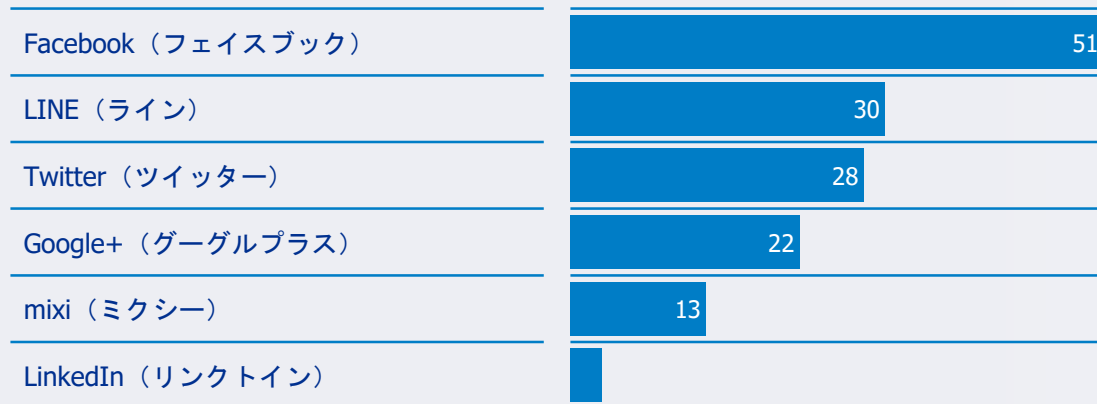
転職をしない

日本で最も求職活動に使用されるSNSはFacebook

仕事に応募する際にソーシャルメディアを利用しますか？（どのソーシャルメディアですか？）

日本では、26%の方が求職活動にSNSを活用

ソーシャルメディア



4. ランスタッドアワード2015

4.1 最もエンプロイヤーブランドの高い企業



企業名認知度 TOP20

ランダムに並べられた調査企業の中から「社名を知っている」とした回答者の比率

1.	日本マクドナルドホールディングス (マクドナルド)	94.87%	11.	ローソン	92.31%
2.	トヨタ自動車(トヨタ)	94.33%	12.	ソニー	92.28%
3.	楽天	93.52%	13.	本田技研工業(ホンダ)	92.27%
4.	NTTドコモ	93.50%	14.	ヤフー(Yahoo)	92.25%
5.	ニトリホールディングス (ニトリ)	93.32%	15.	ヤマトホールディングス (ヤマト運輸)	92.02%
6.	東芝	93.02%	16.	ソフトバンク	91.93%
7.	ヤマダ電機	93.00%	17.	資生堂	91.66%
8.	パナソニック	92.85%	18.	花王	91.61%
9.	イオン	92.45%	19.	味の素	91.58%
10.	任天堂	92.38%	20.	日産自動車(日産)	91.55%



エンプロイヤーブランド(ランスタッドアワード) TOP20

「社名を知っている」と回答した層の中から、この会社で「(ぜひ)働きたい」を選択した回答者の比率

最高スコアを獲得した企業を表彰(ランスタッドアワード)

1.	麒麟ホールディングス (麒麟)	38.62%	11.	キヤノン	33.89%
2.	サントリーホールディングス (サントリー)	38.32%	12.	本田技研工業(ホンダ)	33.43%
3.	明治ホールディングス(Meiji)	37.06%	13.	東海旅客鉄道(JR東海)	33.35%
4.	日清食品ホールディングス (日清食品)	36.73%	14.	味の素	33.13%
5.	パナソニック	36.43%	15.	東芝	32.92%
6.	富士フイルムホールディングス (富士フイルム)	36.15%	16.	富士通	32.82%
7.	全日本空輸(ANA)	35.17%	17.	ソニー	32.10%
8.	トヨタ自動車(トヨタ)	34.59%	18.	大塚ホールディングス (大塚製薬他)	31.90%
9.	日立製作所(日立(HITACHI))	34.20%	19.	アサヒグループホールディングス (アサヒ)	31.86%
10.	任天堂	34.10%	20.	日本電気(NEC)	31.47%

(注: 企業名認知度が10%以上の企業のみを対象とする)



指標別 TOP3

	1位	2位	3位
給与水準が高く、福利厚生が充実している	トヨタ自動車(トヨタ)	三井物産	三菱商事
キャリアアップの機会がある	トヨタ自動車(トヨタ)	伊藤忠商事	日立製作所 (日立(HITACHI))
職場環境が快適である	サントリーホールディングス (サントリー)	パナソニック	トヨタ自動車(トヨタ)
長期にわたる安定した雇用機会がある	トヨタ自動車(トヨタ)	東日本旅客鉄道 (JR東日本)	日立製作所 (日立(HITACHI))
ワークライフバランスが実現しやすい	トヨタ自動車(トヨタ)	味の素	サントリーホールディングス (サントリー)
財務体質が健全である	トヨタ自動車(トヨタ)	日立製作所 (日立(HITACHI))	麒麟ホールディングス (麒麟)
興味深い仕事がある	任天堂	富士フイルムホールディングス (富士フイルム)	サントリーホールディングス (サントリー)
教育訓練が充実している	日本航空(JAL)	全日本空輸(ANA)	トヨタ自動車(トヨタ)
経営者層が優れている	トヨタ自動車(トヨタ)	ソフトバンク	サントリーホールディングス (サントリー)
環境や社会に配慮している (CSR)	トヨタ自動車(トヨタ)	サントリーホールディングス (サントリー)	日立製作所 (日立(HITACHI))

エンプロイヤーブランド 男女別、年齢別TOP3

	1位	2位	3位
男性	本田技研工業(ホンダ)	サントリーホールディングス (サントリー)	トヨタ自動車(トヨタ)
女性	明治ホールディングス(Meiji)	麒麟ホールディングス (麒麟)	全日本空輸(ANA)
18 - 24 歳	セガサミーホールディングス (SEGAサミー)	パナソニック	富士重工業 (スバル)
25 - 44 歳	サントリーホールディングス (サントリー)	明治ホールディングス(Meiji)	麒麟ホールディングス (麒麟)
45 - 65 歳	麒麟ホールディングス (麒麟)	全日本空輸(ANA)	富士フイルムホールディングス (富士フイルム)

エンプロイヤーブランド 教育水準、地域別TOP3

	1位	2位	3位
高等学校卒業以下	麒麟ホールディングス (麒麟)	サントリーホールディングス (サントリー)	パナソニック
短大・専門学校卒	伊藤忠商事	日清食品ホールディングス (日清食品)	豊田自動織機
大学・大学院卒	富士フィルムホールディングス (富士フィルム)	麒麟ホールディングス (麒麟)	サントリーホールディングス (サントリー)
北海道	任天堂	フジ・メディア・ホールディングス (フジテレビジョン)	富士フィルムホールディングス (富士フィルム)
東北	パナソニック	IHI	三菱ケミカル (三菱化学・三菱樹脂)
関東	麒麟ホールディングス (麒麟)	全日本空輸(ANA)	日清食品ホールディングス (日清食品)
甲信越	サントリーホールディングス (サントリー)	信越化学工業 (信越化学)	富士フィルムホールディングス (富士フィルム)
東海	豊田自動織機	サントリーホールディングス (サントリー)	味の素
近畿	明治ホールディングス(Meiji)	富士フィルムホールディングス (富士フィルム)	日清食品ホールディングス (日清食品)
中国	三井物産	パナソニック	麒麟ホールディングス (麒麟)
四国	サントリーホールディングス (サントリー)	シャープ	本田技研工業(ホンダ)
九州・沖縄	IHI	パナソニック	大塚ホールディングス (大塚製薬他)

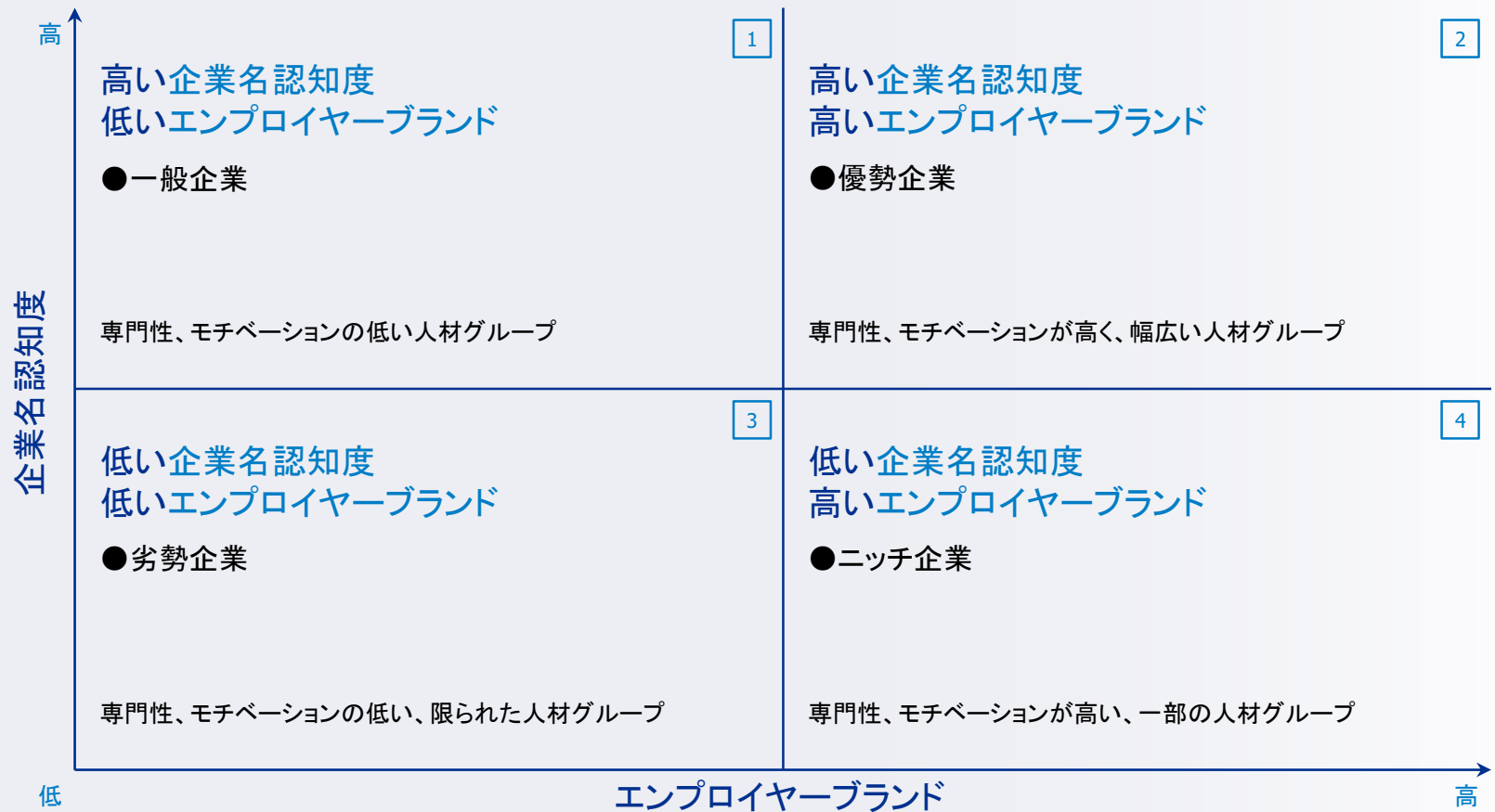
4. ランスタッドアワード2015

4.2 最もエンプロイヤーブランドの高い業界



ランスタッドアワード エンプロイヤーブランド

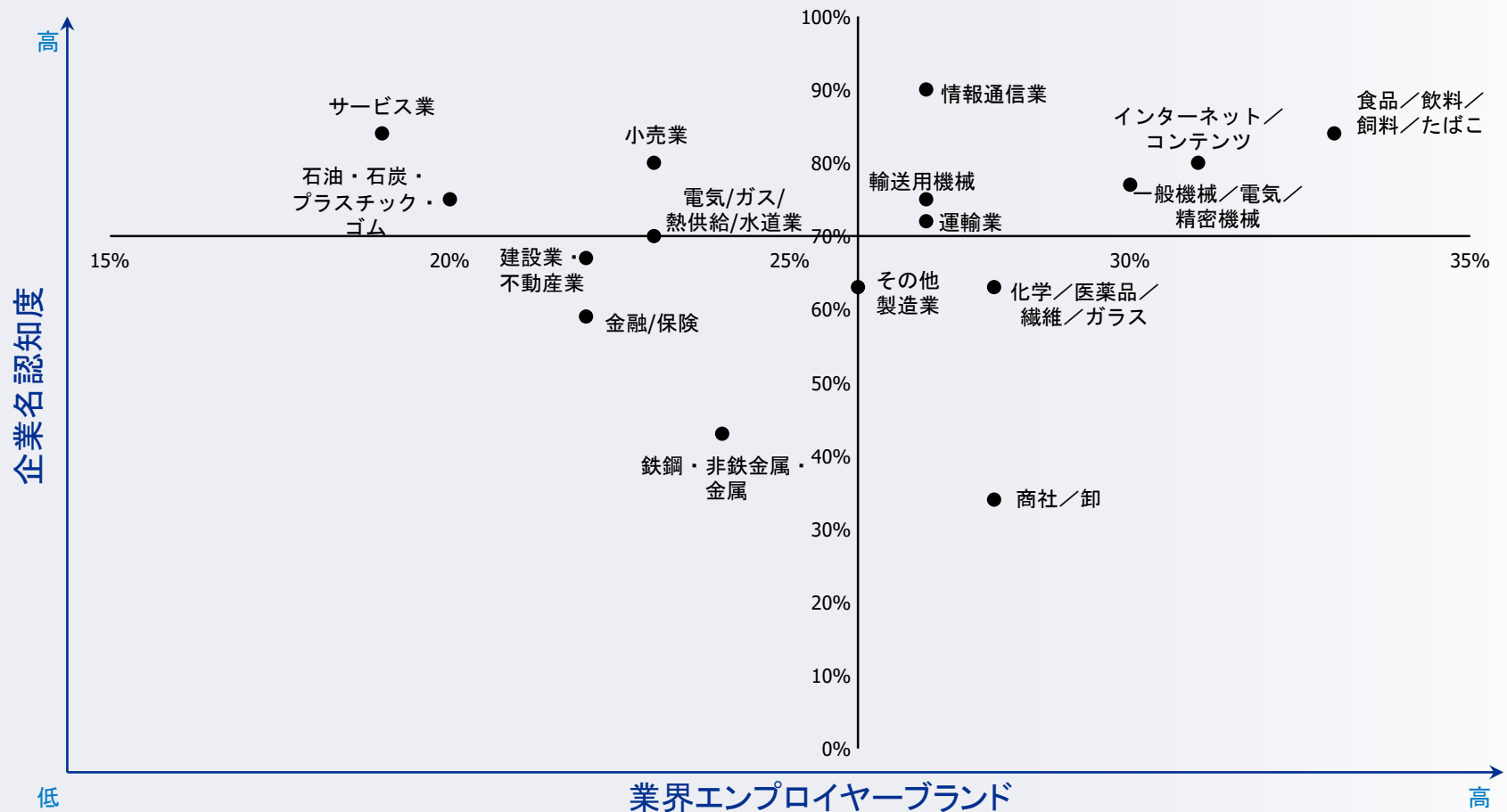
企業名認知度とエンプロイヤーブランドの関連性



各業界のエンプロイヤーブランド2015

その業界に属する企業を1つもしくはそれ以上知っている回答者の回答をもとに算出

● 業界名



業界エンプロイヤーブランド 過去調査との比較

業界エンプロイヤーブランド = 業界所属企業の平均

		2015	2014	2013
1.	食品／飲料／飼料／たばこ	33.31% ▼	37.25%	36.89%
2.	インターネット／コンテンツ	30.60% ▼	33.15%	34.54%
3.	一般機械／電気／精密機械	30.20% ▼	32.85% ▲	30.47%
4.	化学／医薬品／繊維／ガラス	28.43% ▼	31.99%	30.61%
5.	商社／卸	27.66% ▼	31.03% ▲	26.00%
6.	運輸業	26.86%	28.45%	26.88%
7.	情報通信業	26.78% ▼	30.44%	29.38%
8.	輸送用機械	26.71% ▼	27.91% ▲	25.82%
9.	その他製造業	25.73%	28.03% ▲	24.14%
10.	鉄鋼／非鉄金属／金属	23.93% ▼	27.56% ▲	22.34%

業界エンプロイヤーブランド 過去調査との比較

業界エンプロイヤーブランド = 業界所属企業の平均

	2015	2014	2013
11. 小売業	22.79% ▼	24.72% ▲	22.68%
12. 電気／ガス／熱供給／水道業	22.50% ▼	23.60% ▲	16.62%
13. 金融／保険	21.61%	21.54% ▲	16.56%
14. 建設業／不動産業	21.60%	22.02% ▲	17.72%
15. 石油／石炭／プラスチック／ゴム	20.23% ▼	22.65% ▲	20.38%
16. サービス業	19.30% ▼	24.43%	24.80%

業界エンプロイヤーブランド 指標別TOP3

	1位	2位	3位
給与水準が高く、福利厚生が充実している	商社／卸	金融／保険	情報通信業
キャリアアップの機会がある	インターネット／コンテンツ	商社／卸	一般機械／電気／精密機械
職場環境が快適である	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ	一般機械／電気／精密機械
長期にわたる安定した雇用機会がある	食品／飲料／飼料／たばこ	化学／医薬品／繊維／ガラス	一般機械／電気／精密機械
ワークライフバランスが実現しやすい	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ	化学／医薬品／繊維／ガラス
財務体質が健全である	食品／飲料／飼料／たばこ	商社／卸	情報通信業
興味深い仕事がある	インターネット／コンテンツ	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械
教育訓練が充実している	運輸業	サービス業	情報通信業
経営者層が優れている	インターネット／コンテンツ	食品／飲料／飼料／たばこ	輸送用機械
環境や社会に配慮している (CSR)	食品／飲料／飼料／たばこ	化学／医薬品／繊維／ガラス	輸送用機械

業界エンプロイヤーブランド 属性別TOP 3

	1位	2位	3位
男性	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械	インターネット／コンテンツ
女性	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ	商社／卸
18 - 24 歳	インターネット／コンテンツ	一般機械／電気／精密機械	食品／飲料／飼料／たばこ
25 - 44 歳	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ	一般機械／電気／精密機械
45 - 65 歳	食品／飲料／飼料／たばこ	化学／医薬品／繊維／ガラス	インターネット／コンテンツ

業界エンプロイヤーブランド 教育水準、地域別TOP 3

	1位	2位	3位
高等学校卒業以下	インターネット／コンテンツ	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械
短大・専門学校卒	食品／飲料／飼料／たばこ	その他製造業	化学／医薬品／繊維／ガラス
大学・大学院卒	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械	商社／卸
北海道	インターネット／コンテンツ	食品／飲料／飼料／たばこ	化学／医薬品／繊維／ガラス
東北	インターネット／コンテンツ	その他製造業	食品／飲料／飼料／たばこ
関東	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械	商社／卸
甲信越	インターネット／コンテンツ	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械
東海	食品／飲料／飼料／たばこ	輸送用機械	一般機械／電気／精密機械
近畿	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ	一般機械／電気／精密機械
中国	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械	商社／卸
四国	食品／飲料／飼料／たばこ	一般機械／電気／精密機械	化学／医薬品／繊維／ガラス
九州・沖縄	一般機械／電気／精密機械	食品／飲料／飼料／たばこ	インターネット／コンテンツ

good
to know
you



補足資料

ランスタッドアワード2015

1. 勤務先企業を選ぶときに重要する項目（属性別）
2. 転職をする理由（属性別）
3. 現職に留まる理由（属性別）
4. 求職活動におけるソーシャルメディアの活用（属性別）

参考資料: 最もエンプロイヤーブランドの高い企業（REMAS）



補足資料 1

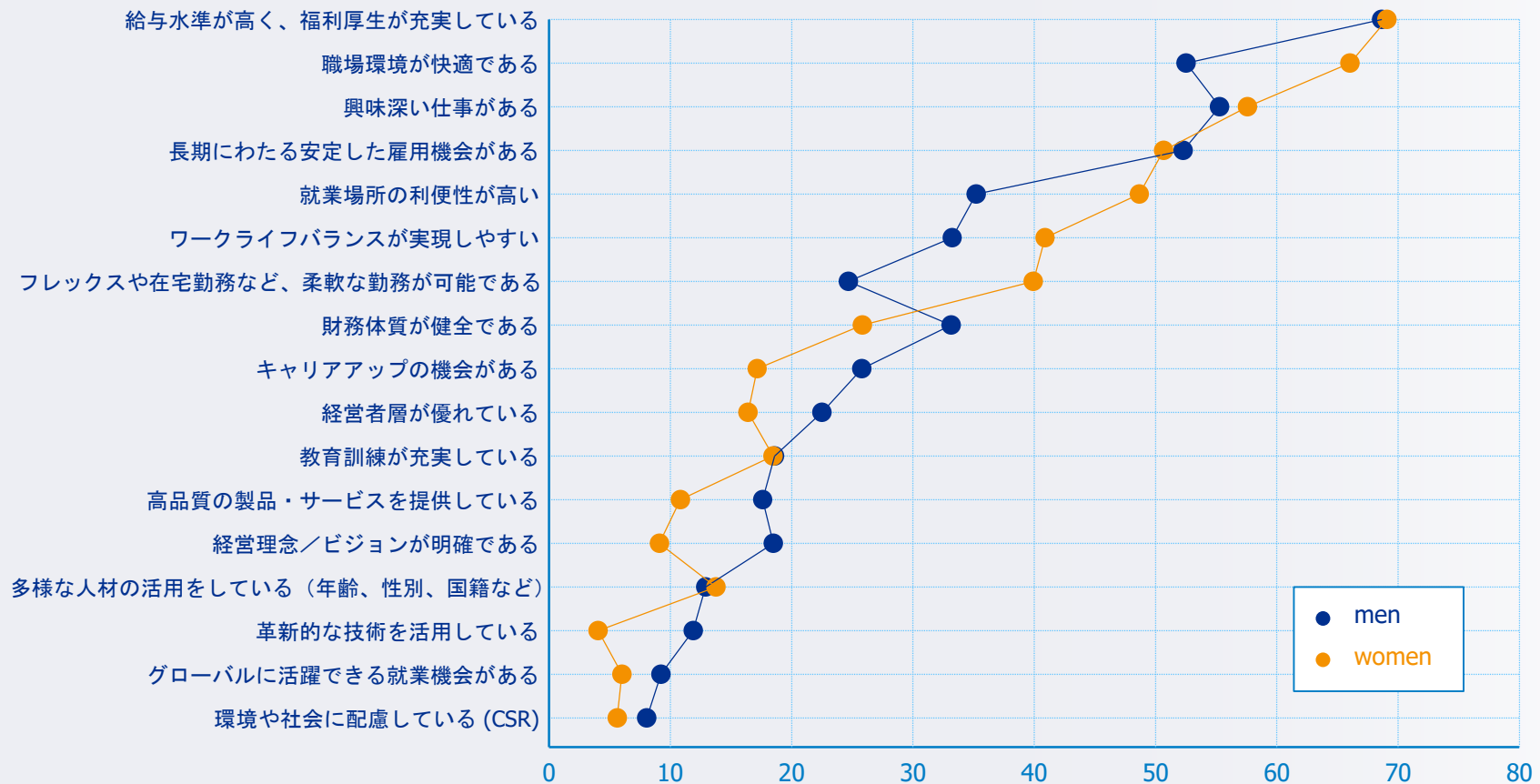
勤務先企業を選ぶときに重要する項目（属性別）



女性は職場の雰囲気、就業場所の利便性、ワークライフバランス、柔軟な勤務形態をより重視

あなたが勤務先を選ぶときに、「重要」と考える内容はどのようなことですか？
優先順位が高い順に順位をつけ、1～5位を必ず全てご指定下さい。

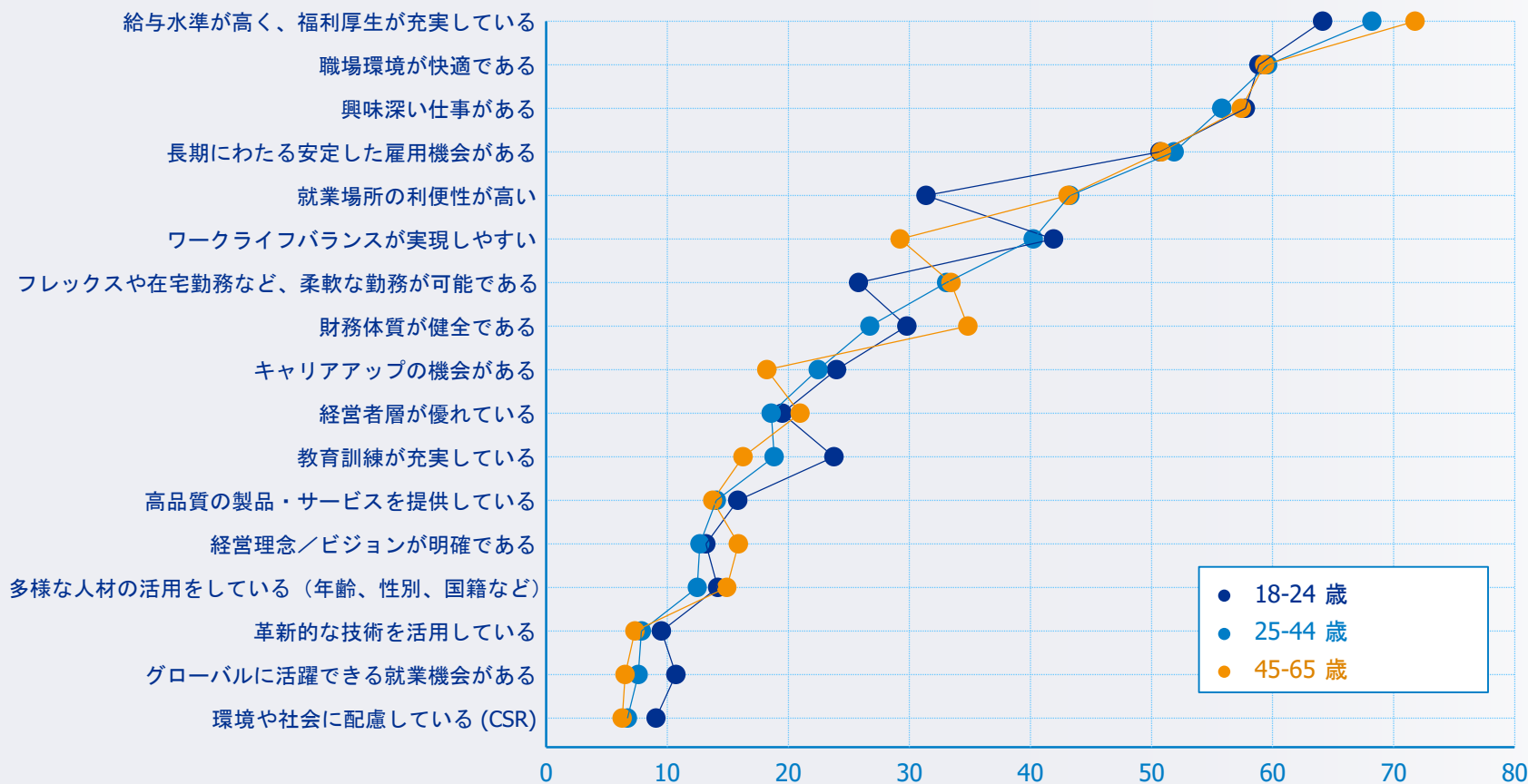
<勤務先企業に対する、男女間の意識の差>



若手層はワークライフバランス、教育の機会、キャリアアップの機会をより重視する傾向

あなたが勤務先を選ぶときに、「重要」と考える内容はどのようなことですか？
優先順位が高い順に順位をつけ、1～5位を必ず全てご指定下さい。

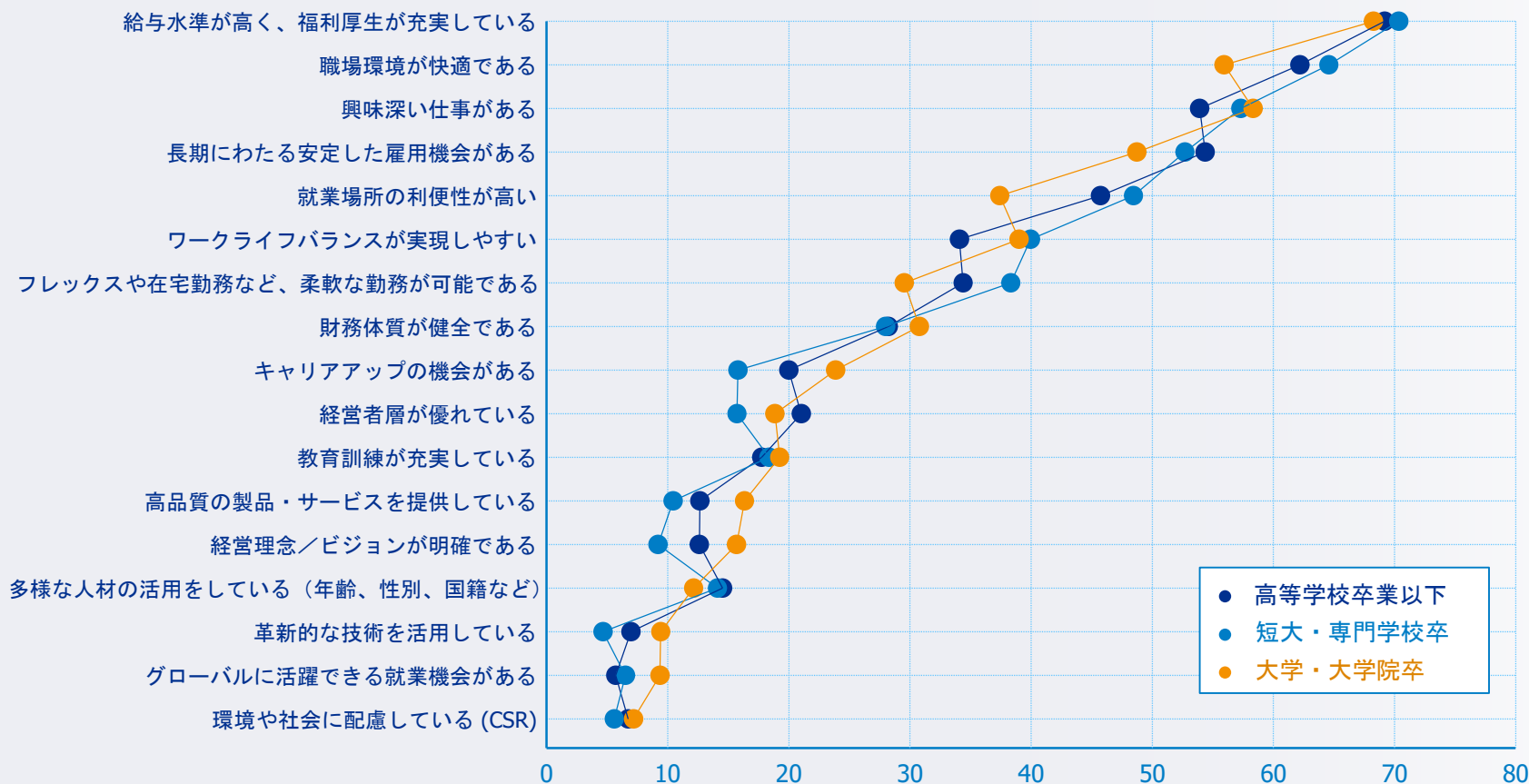
<勤務先企業に対する、年齢別の意識の差>



大学卒業以上の層は、キャリアアップと業務内容を重視 短大・専門卒以下は雇用の安定と職場環境に重きを置く

あなたが勤務先を選ぶときに、「重要」と考える内容はどのようなことですか？
優先順位が高い順に順位をつけ、1～5位を必ず全てご指定下さい。

<勤務先企業に対する、教育水準別の意識の差>



補足資料 2

転職をする理由（属性別）



男性が転職をした理由は職場での評価や報酬が 女性は勤務形態が柔軟でない、また人間関係が理由

以前の勤務先を退職し、新たなキャリア機会を探し求めるきっかけとなった理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

転職をした理由 トップ10	全体	性別（平均超過%）	
		男性	女性
職場での評価や受け取る報酬に不満があった	28	3	
ワークライフバランスが実現できなかった	28		
同僚との人間関係や協力体制が悪かった	22		2
業務内容に興味がなかった	20		
同業や別業界の他社と比べて給与待遇が低すぎた	17		
リーダーシップが不足していた （経営層を尊敬できない）	17		
直属の上司との人間関係が悪かった	16		
通勤時間が長すぎた	15		
他社と比べ、休暇取得がしづらかった	15		
時短勤務など、柔軟な働き方が選択できなかった	15		3

45歳以上が転職を考えるきっかけは給与待遇と業務内容への不満 24歳未満はワークライフバランスに課題

向こう1年以内の転職を考えるきっかけとなった理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

転職を考えるようになった理由 トップ10	全体	性別（平均超過％）		年齢（平均超過％）		
		男性	女性	18-24歳	25-44歳	45-65歳
職場での評価や受け取る報酬に不満があった	32					
同業や別業界の他社と比べて給与待遇が低すぎた	25	4				4
業務内容に興味がなかった	24					5
ワークライフバランスが実現できなかった	20			8		
同僚との人間関係や協力体制が悪かった	19		3			
リーダーシップが不足していた （経営層を尊敬できない）	18					
キャリアアップの機会が足りなかった （選択肢が限定的）	17					
他社と比べ、休暇取得がしづらかった	15					
直属の上司との人間関係が悪かった	15		3			
福利厚生が少ない、または無かった	14			9		

生産技術職は職場での評価や報酬に不満 事務職は業務内容に対する不満が転職を考えるきっかけに

向こう1年以内の転職を考えるきっかけとなった理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

転職を考えるようになった理由 トップ10	全体	教育水準（平均超過％）			職位・職種別（平均超過％）		
		高卒以下	短大・専門	大卒以上	生産・技術職	事務職	管理職
職場での評価や受け取る報酬に不満があった	32	2			7		
同業や別業界の他社と比べて給与待遇が低すぎた	25						
業務内容に興味がなかった	24					4	
ワークライフバランスが実現できなかった	20						
同僚との人間関係や協力体制が悪かった	19						
リーダーシップが不足していた （経営層を尊敬できない）	18	3	3		3		6
キャリアアップの機会が足りなかった （選択肢が限定的）	17		3		3	4	
他社と比べ、休暇取得がしづらかった	15						
直属の上司との人間関係が悪かった	15						
福利厚生が少ない、または無かった	14	2					

補足資料 3

現職に留まる理由（属性別）



女性が現職留まる理由はワークライフバランス 45歳以上の層はより業務内容を留職の理由に

転職をせず、あなたが現在の勤務先に留まっている理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

現職に留まっている理由 トップ10	全体	性別（平均超過％）		年齢（平均超過％）		
		男性	女性	18-24歳	25-44歳	45-65歳
ワークライフバランスを実現できている	40		7			
興味深い仕事がある	37					5
直属の上司とよい人間関係を築けている	31		5			
時短勤務など、柔軟な働き方の選択肢が与えられている	26		10			
周囲から評価され、感謝されていると感じる	26					2
高水準の給与が提供されている	21	3				3
組織風土・文化がよい	20	2		5		
健全な財務体質を維持している	18	2				
組織としての強力なイメージがある	13			5		
キャリアアップ、昇進の機会がある	12	2				

管理職が現職に留まる理由は仕事に対する興味と高水準の給与待遇

転職をせず、あなたが現在の勤務先に留まっている理由をお聞かせください。
上位3つの理由を、重要度に応じてお選びください。

現職に留まっている理由 トップ10	全体	教育水準（平均超過％）			職位・職種別（平均超過％）		
		高卒以下	短大・専門	大卒以上	生産・技術職	事務職	管理職
ワークライフバランスを実現できている	40		9			3	
興味深い仕事がある	37			3			6
直属の上司とよい人間関係を築けている	31	3				3	
時短勤務など、柔軟な働き方の選択肢が与えられている	26	6	6			2	
周囲から評価され、感謝されていると感じる	26						4
高水準の給与が提供されている	21						8
組織風土・文化がよい	20			3			
健全な財務体質を維持している	18						3
組織としての強力なイメージがある	13						
キャリアアップ、昇進の機会がある	12						4

補足資料 4

求職活動におけるソーシャルメディアの活用（属性別）



日本で最も求職活動に使用されるSNSはFacebook 女性の間ではLINEが、45歳以上の層はmixiを活用

仕事に応募する際にソーシャルメディアを利用しますか？（どのソーシャルメディアですか？）

ソーシャルメディア	全体	性別		年齢		
		男性	女性	18-24歳	25-44歳	45-65歳
Facebook（フェイスブック）	51	1位	1位	1位	1位	1位
LINE（ライン）	30	3位	2位	3位	2位	3位
Twitter（ツイッター）	28	2位	4位	2位	3位	4位
Google+（グーグルプラス）	22	4位	3位	4位	4位	2位
mixi（ミクシー）	13	5位	5位	5位	5位	5位
LinkedIn（リンクトイン）						

日本で最も求職活動に使用されるSNSはFacebook 教育水準、職位・職種別でも LINE、Twitterが続く

仕事に応募する際にソーシャルメディアを利用しますか？（どのソーシャルメディアですか？）

ソーシャルメディア	全体	教育水準			職位・職種別		
		高卒以下	短大・専門	大卒以上	生産・技術職	事務職	管理職
Facebook（フェイスブック）	51	1位	1位	1位	1位	1位	1位
LINE（ライン）	30	2位	2位	2位	2位	2位	2位
Twitter（ツイッター）	28	3位	3位	3位	3位	3位	3位
Google+（グーグルプラス）	22	4位	4位	4位	4位	4位	4位
mixi（ミクシー）	13	5位	5位	5位	5位	5位	5位
LinkedIn（リンクトイン）							

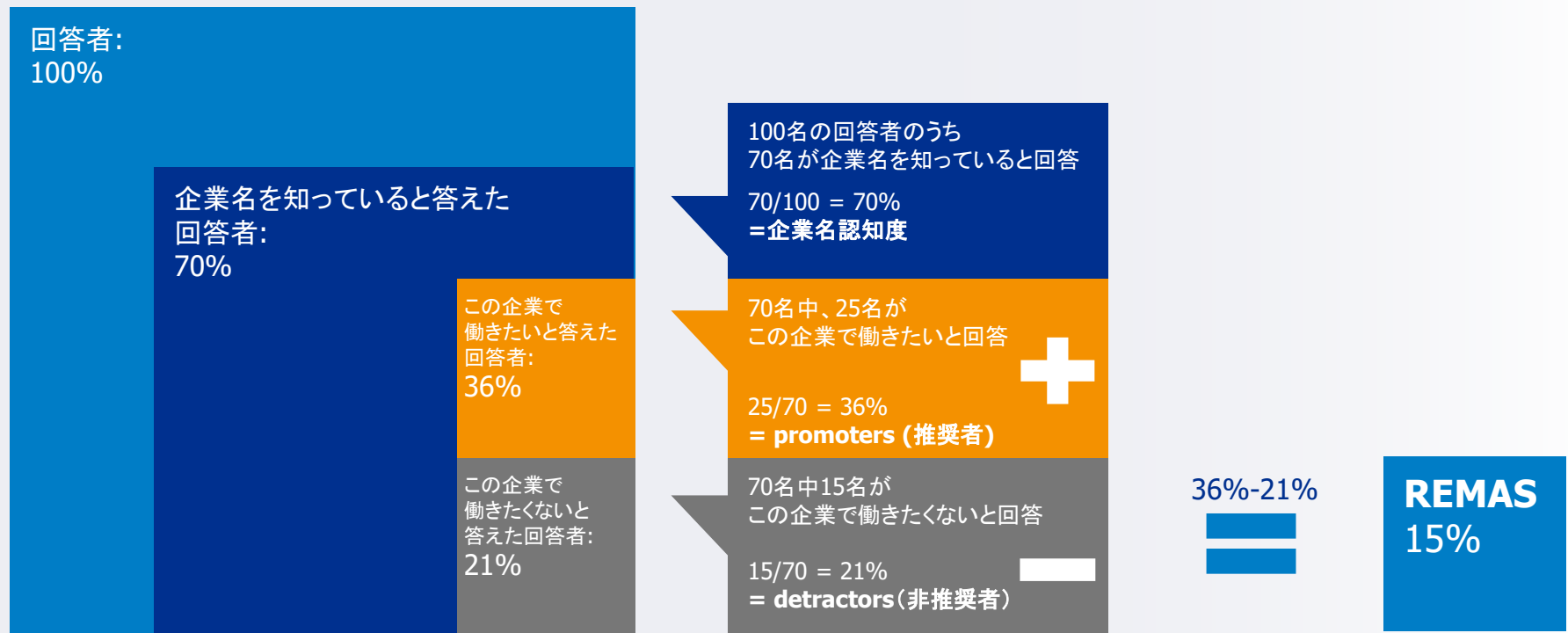
参考資料

最もエンプロイヤーブランドの高い企業（REMAS）



Randstad Employer Attractiveness Score (REMAS)

エンプロイヤーブランドを示すもう一つの指標「ランスタッドエンプロイヤーブランドスコア (REMAS)」



$$\text{REMAS} = \text{promoters (推奨者)} - \text{detractors (非推奨者)} = 15\%$$

業界別 ランスタッドエンプロイヤーブランドスコア (REMAS)

「社名を知っている」と回答した層の中から、この会社で「(ぜひ)働きたい」を選択した回答者の比率を算出。
その上で、「あまり働きたくない」「全く働きたくない」と答えた回答者を差し引いた結果

	REMAS 2015		REMAS 2014
1. 食品／飲料／飼料／たばこ	10.57%	▼	12.62%
2. 一般機械／電気／精密機械	6.41%	▼	9.47%
3. インターネット／コンテンツ	4.79%		4.35%
4. 化学／医薬品／繊維／ガラス	3.34%		5.18%
5. 輸送用機械	0.39%		1.51%
6. 商社／卸	0.39%	▼	4.23%
7. その他製造業	0.33%		-0.69%
8. 運輸業	-1.56%		-1.26%
9. 鉄鋼・非鉄金属・金属	-1.92%	▼	9.53%
10. 情報通信業	-3.85%		-3.03%

業界別 ランスタッドエンプロイヤーブランドスコア (REMAS)

「社名を知っている」と回答した層の中から、この会社で「(ぜひ)働きたい」を選択した回答者の比率を算出。その上で、「あまり働きたくない」「全く働きたくない」と答えた回答者を差し引いた結果

	REMAS 2015		REMAS 2014
11. 石油・石炭・プラスチック・ゴム	-11.08%	▼	-7.46%
12. 小売業	-11.69%	▼	-9.17%
13. 建設業/不動産業	-12.13%		-11.85%
14. 電気/ガス/熱供給/水道業	-15.54%	▼	-12.58%
15. 金融/保険	-16.41%		-18.09%
16. サービス業	-21.44%	▼	-12.74%

最もエンプロイヤーブランドの高い企業(REMAS)上位20社

「社名を知っている」と回答した層の中から、この会社で「(ぜひ)働きたい」を選択した回答者の比率を算出。
その上で、「あまり働きたくない」「全く働きたくない」と答えた回答者を差し引いた結果

1.	麒麟ホールディングス (麒麟)	18.86%	11.	東芝	11.77%
2.	サントリーホールディングス (サントリー)	16.81%	12.	トヨタ自動車(トヨタ)	10.96%
3.	明治ホールディングス (Meiji)	16.38%	13.	味の素	10.81%
4.	富士フイルムホールディングス (富士フイルム)	15.45%	14.	大塚ホールディングス (大塚製薬他)	10.76%
5.	パナソニック	15.29%	15.	キヤノン	10.62%
6.	日清食品ホールディングス (日清食品)	14.24%	16.	ニコン	10.34%
7.	日立製作所(日立(HITACHI))	13.33%	17.	日本電気(NEC)	8.86%
8.	任天堂	12.62%	18.	旭化成	8.62%
9.	本田技研工業(ホンダ)	12.34%	19.	富士通	8.55%
10.	全日本空輸(ANA)	11.90%	20.	アサヒグループホールディングス (アサヒ)	7.27%

(注：企業名認知度が10%以上の企業のみを対象とする)

